

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	歴史の中の政治と人間 Politics in Historical and Theoretical Perspectives					担当者所属 職名・氏名	法学研究科 教授 伊藤 之雄 公共政策大学院 教授 島田 幸典				
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	法・政治・経済(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	水2		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
（法学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）											
[授業の概要・目的]											
この授業は、政治学関係の諸講義の入門的役割を果たすと同時に、広く教養科目としての位置づけを果たすことを意図している。前半（島田担当）では政治理論分野を、後半（伊藤担当）では政治史分野を扱う。											
[到達目標]											
政治学、とくに政治理論・政治史に関する基礎的な知識と考え方を身につけること。											
[授業計画と内容]											
政治理論											
（１）政治理論の基礎											
①基本概念											
②国家論の系譜											
（２）民主主義と自由主義											
③直接民主制と代議制											
④政治権力と個人の自由											
⑤リベラル・デモクラシーの展開											
⑥大衆民主主義の時代											
（３）政治理論の現在											
⑦今日の政治をめぐる理論的課題											
政治史											
（１）近代国際政治体系の成立											
①近代国際政治体系											
（２）近代国家の成立											
②近代国家の形成											
③指導者像											
④外交と内政											
（３）第一次世界大戦以降の政治											
⑤二度の世界大戦											
⑥冷戦と国内政治											
⑦冷戦後の政治状況											
まとめ											
-----歴史の中の政治と人間(2)へ続く↓↓↓											

歴史の中の政治と人間(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）により、到達目標の達成度に基づき、評価する。

【評価基準】＊平成26年度以前のカリキュラムの適用学生

到達目標について以下の評価基準に基づき評価する。

80～100点：目標を十分に達成しており、優れている。

70～79点：目標について標準的な達成度を示している。

60～69点：目標につき最低限の水準を満たすにとどまる。

0～59点：目標について最低限の水準を満たしておらず、さらに学習が必要である。

【評価基準】＊平成27年度以降のカリキュラムの適用学生

到達目標について以下の評価基準に基づき評価する。

96～100点：目標を十分に達成しており、とくに優れている。

85～95点：目標を十分に達成しており、優れている。

75～84点：目標について良好な達成度を示している。

65～74点：目標について標準的な達成度を示している。

60～64点：目標につき最低限の水準を満たすにとどまる。

0～59点：目標について最低限の水準を満たしておらず、さらに学習が必要である。

[教科書]

使用しない

参考文献は授業のなかで紹介する。

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業のなかで指示する。

[その他（オフィスアワー等）]